

近刊

利休随一の弟子 三斎細川忠興

元玉川大学教授
矢部誠一郎 著

四六判 並製 二〇八頁 定価(1,800円+税)

ISBN978-4-86366-878-2

54万石の大大名である一方、千利休の教えを忠実に受け継ぎ、織部亡き後、武家茶の湯を確立した細川忠興。その茶人としての側面を解き明かす。

利休に一番近いとされた大名茶人細川忠興(三斎)。織部・遠州のよ
うな獨創性を求めず、武人として武家の茶の湯を大成したとされる
忠興の茶を、歴史の一ジャンルとしての思想史の対象として取り上
げ、史料に沿って論じながら、著者の新知見を開陳する。

近刊〈茶人叢書第四弾〉

根津青山

せいびん

「鉄道王」嘉一郎の茶の湯

かいちろう

山梨大学名誉教授
齋藤康彦 著

四六判 上製 四〇〇頁(カラー口絵八頁) 定価(3,500円+税)

ISBN978-4-86366-981-9

日本美術を守った「ボロ買一郎」の先見

データベースの分析という新手法で、根津青山の蒐集、交友、茶風を解き明かす。一代で財閥を成した実業家の、数寄者としての理念とは――

甲斐山梨の地主の次男として生まれた根津青山(嘉一郎)は、東京電灯・帝国石油など多くの企業の重役となり、特に鉄道に関しては東武鉄道・東京市街鉄道・南海鉄道・南朝鮮鉄道など四十社を数え「鉄道王」と称された。美術報国の理念のもと道具争奪戦にも加わった根津の、茶人たちの残した茶会記を情報源とする人物交流・茶室・茶道具・古美術品のデータベースの分析を基に、経済学者ならではのアプローチでその実像に迫る。付表36点。

〔内容目次〕

- 第一章 茶の湯と古美術
- 第二章 茶の湯の交流
- 第三章 近代数寄者の事業
- 第四章 『青山狂清賞』の世界
- 第五章 古美術品と茶道具
- 第六章 青山流茶の湯

注文書

書店(帳合)印

条件

注文数

担当

冊 様

書名

利休随一の弟子 三斎細川忠興

矢部誠一郎 著

ISBN978-4-86366-878-2 C1023 ¥1800E

定価(本体1800円+税)

年 月 日

発行 (株)宮帯出版社 京都市上京区真倉町739-1

TEL(075)(四四)七五七四
FAX(075)(四三)八八七七

注文書

書店(帳合)印

条件

注文数

担当

冊 様

書名

根津青山「鉄道王」嘉一郎の茶の湯

齋藤康彦 著

ISBN978-4-86366-981-9 C1023 ¥3500E

定価(本体3500円+税)

年 月 日

発行 (株)宮帯出版社 京都市上京区真倉町739-1

TEL(075)(四四)七五七四
FAX(075)(四三)八八七七

(株)宮帯出版社

京都市上京区真倉町739-1
TEL(075)441-7747

www.miyaobi.com
FAX(075)431-8877